



「かがやけ見小のスター ～どんなきょうぎも 全力でちょうせん～」

これは、児童会執行部の原案をもとに、代表委員会で子供たちが話し合って決めた運動会のスローガンです。このスローガンに向けて、運動会に向けた取組がスタートしています。

子供たちには、この運動会でつきたい態度面の力として、「100の力」（ひゃくのちから）と「0の力」（ゼロのちから）を伝えました。

① 「力」を発揮するときは「100（ひゃく）の力」

→全力で走ったり、演技したり、応援したり、係活動をしたりする。

→笛や音楽などの合図をよく聞いて、すばやく動く。

② その前と後は、動きを0（ゼロ）にして、動かないで力をためる「0（ゼロ）の力」

→静かに整列する、静かに話を聞く、動きを止めて次のことを考える。

学年などの練習の他に、朝や休み時間に集まって踊りや応援の練習をしたり、高学年が低学年に応援を教えたりと、自分たちで取組を進める姿が素晴らしいです。

運動会本番では、子供たちが「100の力」と「0の力」で、競技や応援、係活動に取り組む姿に拍手をお願いいたします。



1年生をあたたくむかえました

4月22日(水)に、児童会執行部が中心となって全校で準備を進めてきた「1年生を迎える会」が和やかに行われました。

6年生と手をつないでニコニコした顔で入場した1年生。6年生に、「1年生かわいいですか」と聞くと、「とってもかわいいです」と笑顔で答えてくれました。2年生からはアサガオの種のプレゼント、3年生は給食ランキング、4年生は「小さな世界」の歌とリコーダーの演奏、5年生はおそうじ名人クイズと、1年生がこれからの学校生活が楽しみになる発表を工夫しました。そして、6年生。カリスマックスのダンス、自分たちで考えた寸劇、最後は1年生への迫力あるエールで会を締めくくってくれました。

どの学年にも、発表や言葉をしっかりと聞こうとする姿が見られ、全校の温かな気持ちが体育館にあふれる会となりました。518名の子供たちは、きっとこれからも様々な場面で支え合い、励まし合いながら成長していくものと思います。



「三本柳さんさ踊り」の華麗な演技

5月1日(金)に、「伝統芸能鑑賞会」が開催され、三本柳さんさ踊り保存会の皆様の演技を全校で鑑賞しました。ダイナミックで迫力のある踊りを目の前で観ることで、子供たちは改めて地域の伝統芸能である三本柳さんさ踊りの素晴らしさを肌で感じていました。演技には年組の皆さんも参加して、上手な踊りを披露しました。

運動会では3年生以上が踊ります。見前地区への理解と愛情を深める機会になればと思っています。保存会の皆様、引き続きのご指導、どうぞよろしくお願いいたします。

